

第6回福島県双葉郡子供未来会議 実施報告

1. 主催

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

2. 日時・場所

平成26年2月19日(水) 13:00~17:00

広野町立広野小学校体育館(福島県双葉郡広野町)

3. 参加者

77名

- ・各町村立小中高生 47名
- ・保護者 5名
- ・教員 14名
- ・その他関係者(双葉地区教育長会、福島県教委、福島大学学生、福島大学関係者、行政関係者等) 32名



4. 概要

双葉郡8町村の小中高生47名が集まり、双葉郡教育復興ビジョンの具現化に向けて、保護者5名と教職員をはじめとした教育関係者48名も加わりながら、ワークショップを行った。平日の午後の授業時間を利用し、平成27年度に中高一貫校を設置予定の広野町において、一人一人の意見を大切にしながら「ふつうの教育、最高の教育。ふつうの学校、最高の学校」について多くの意見や思いが話し合われた。

広野町浅野教育長からの挨拶から始まり、やや緊張感がある中、子供たちは各テーブルに座り、前半はテーマについて席替えをしながら普段の学校生活を元に話し合いがなされた。また、議論途中で、荒井委員より教育復興ビジョンの紹介が行われた。後半においては、前半で出てきた内容の中からテーマを出し合い、「本当に良い勉強とは何か」「外国との交流」「文武両道」「勉強の基礎」「様々な領域で活躍する人に会える学校」「一人一人にパソコン・タブレット」「おいしいご飯」など各テーマが上げられ、テーマ別に分かれて話し合いを行った。

この議論の中では、学校生活の話が主にあげられ、「いろんな大人の人と話をして、学校の勉強には無駄がないことがわかった。将来なりたいものに向かって頑張りたい」「一人一人の興味関心

にに応じて、浜通りらしさを持ちつつ世界に羽ばたける学校が良い」「個別学習を進めるために、パソコン・タブレット端末を一人一人に配付できる環境が良い」「勉強ができる生徒とスポーツができる生徒が教え合い学び合い共存共栄する学校がいい」「おいしい給食を食べるために子供自身もコストを考えながら計画をたてていきたい」等の意見が述べられた。また、教育関係者や保護者やNPOの大人が混ざったグループでは、「社会という土俵の中で自己実現できるように閉ざされた学校では無く地域との生きたつながりが重要。地域は教育の土俵となり、学校は地域にオープンな存在となり、大人も子供一緒に学んでいきたい」「大人も子供も答えの出ていない問題に立ち向かうことが勉強」といった話がなされた。また、広野町に新しい中学校ができたときにどちらに通わせたらいいのかといった不安も一部述べられた。

講評として、復興庁福島復興再生総局中島局長より「今、復興のためにいろんな大人と話をしている。今回初めてこの会に参加してわかったのは、大人は子供たちと話をすると背中が伸びて、頑張っていなくてはと思う。これからも新しい学校のために続けて行ってほしい」と話があった。福島大学人間発達文化学類千葉学類長からは、「新しい教育を作るために大事な時間となった。10年後、20年後に見るこの新しい教育にこの話し合いが反映されるよう、福島大学として役立てるよう関わってほしい」と話があった。福島県教委森下課長より「毎回出てくるみなさんの意見を楽しみにしている。平成27年度から新しく作っていく学校と連携できるよう作ってほしい。新しく学校ができたとしても、子供たちや先生方また地域の人たちで良いものにしてほしい」と話があった。最後に、広野町遠藤町長から「この有意義な時間をうれしく思い、また感動している。双葉においてこの地に生まれてきた事実とふるさとを思う心を感じた。今置かれている状況の中で、家族を守る、ふるさとを守るための生きる力が大切である。夢と希望を叶えてくれる新しい双葉郡の教育をみなさんとともに作ってほしい。」と話があった。

大熊町武内教育長からは、「みなさんから出た意見は、この新しい学校の設立また運営に生かしていく。これからも学校の主役であるみなさんに、今日話したことを、学校の友達をはじめ郡内に広めて行ってほしい」と話され、また参加してくれた児童生徒また保護者や関係者に対し感謝の意が述べられ閉会した。

《参考：参加者詳細》

○参加者 99名

・福島県双葉郡の児童生徒及び保護者 合計52名

- 葛尾村 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）
- 檜葉町 7名（小学生2、中学生4、高校生0、保護者1）
- 大熊町 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）
- 浪江町 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）
- 双葉町 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）
- 広野町 45名（小学生12、中学生28、高校生1、保護者4）
- 川内村 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）
- 富岡町 0名（小学生0、中学生0、高校生0、保護者0）

・その他関係者 47名

- 福島県双葉郡8町村 教育長、各町村教育委員会関係者、
- 福島大学ボランティアスタッフ、福島大学関係者、福島県教委、復興庁、文部科学省 等

《参考：日程詳細》

平成 26 年 2 月 19 日（水）13:00～17:00

13:05～13:10 開会挨拶 広野町浅野教育長

13:10～15:10 前半の部（ワールドカフェ）

13:10～13:20 前半の部進行説明

13:20～13:50 普段のことを話し合い

13:50～14:05 「ふつうの教育、最高の教育。ふつうの学校、最高の学校」について
話し合い

14:05～14:40 グループを移動、上記テーマについて話し合い

14:40～14:50 ビジョン説明（荒井委員）

14:50～15:05 グループを移動、話し合い

15:05～15:20 最初のグループに戻り議論の共有

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 後半の部（オープン・スペース・テクノロジー）

15:30～15:40 テーマを A4 用紙に記入しホワイトボードへ貼る

15:40～16:00 発表・感想

16:00～16:10 アンケート記入

16:10～16:25 講評（福島県教委森下課長、福島大学千葉人間発達文化学類長、
広野町遠藤町長）

16:25～16:30 閉会挨拶（大熊町武内教育長）

第6回 双葉郡子供会議

平成26年2月19日
松野小学校

